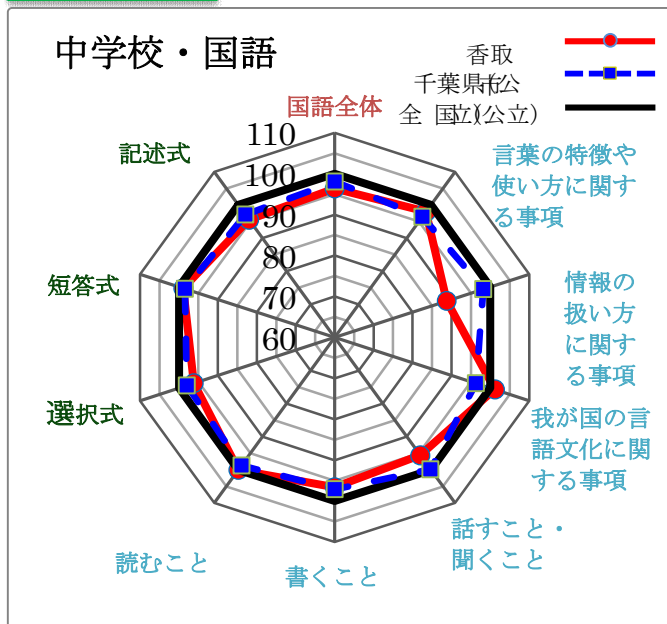


中学校・国語

傾向と課題



内容別では、「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均を上回りました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均をわずかに下回りました。「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均を100とした場合、香取市が88.8となる結果であり、大きく下回りました。

問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてにおいて全国平均をわずかに下回りました。昨年度改善傾向にあった「記述式」の数値が下降傾向になりました。

課題が見られた主な問題

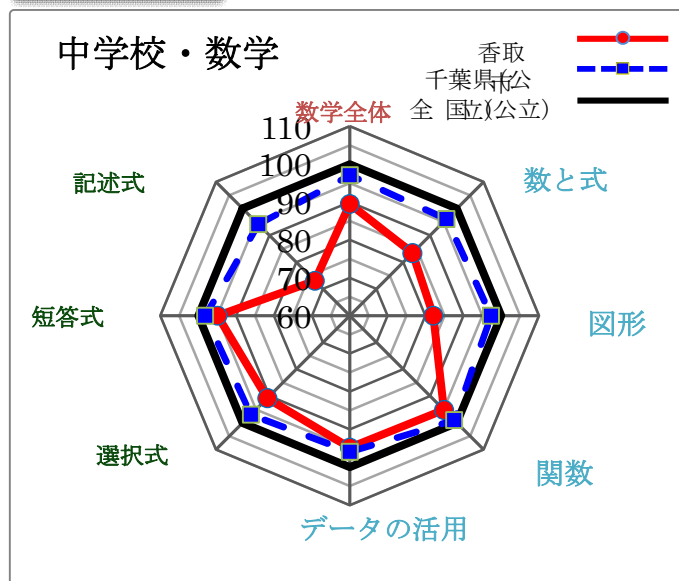
● 国語 1 三	意見と根拠などの情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる 【情報の扱い方に関する事項、選択式】 [香取市 34.3% 千葉県(公立)42.8% 全国(公立)44.0%]
● 国語 2 二	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる 【情報の扱い方に関する事項、選択式】 [香取市 71.5% 千葉県(公立)74.3% 全国(公立)75.2%]
● 国語 4 一	表現の技法について理解しているかどうかをみる 【言葉の特徴や使い方に関する事項、選択式】 [香取市 49.3% 千葉県(公立)50.8% 全国(公立)54.9%]

力を入れたい学習

- 話合う場面では、意見と根拠など情報と情報との関係について、正確に理解するために質問したり、資料を用いて自分の考えを伝えたり、意見と理由との関係について注意して発言を聞いたりするなど、話題や展開を捉えながら自分の考えをまとめていく活動が重要である。また、「フィルターバブル現象」が問題として問われたことから、情報を取捨選択したり活用したりする能力や筋道立てて考える能力を習得していく必要があると考えられる。
- 表現の技法（比喩・反復・倒置・体言止め）に関する知識及び技能は、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする中で、生きて働く「知識及び技能」として習得できるよう指導することが大切である。言語活動の中で、表現の技法に関する知識を意識しながら取り入れる活動が考えられる。
- 記述式問題を解答するには、文章の構成力を身に付けることが大事である。新聞等を読み手が理解できるように要約、構成し他者に伝える活動が考えられる。

中学校・数学

傾向と課題



領域別では、「数と式」「関数」「データの活用」のすべてにおいて全国平均を下回っており、特に「数と式」「関数」は、全国平均を100とした場合、香取市がそれぞれ83.4、82.1となる結果でした。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均を下回っています。特に「記述式」は、全国平均を100とした場合、香取市が73となる結果でした。

課題が見られた主な問題

● 数学1	連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる 【数と式、短答式】 [香取市 22.3% 千葉県(公立)32.6% 全国(公立)34.8%]
● 数学2	等式 $6x + 2y = 1$ を y について解く 【数と式、短答式】 [香取市 40.5% 千葉県(公立)49.4% 全国(公立)52.5%]
● 数学8(2)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる 【関数、記述式】 [香取市 9.2% 千葉県(公立)16.0% 全国(公立)17.1%]

力を入れたい学習

- 三角形の合同を基にして証明する問題では、予想した事項が成り立つことを論理的に考察し表現することや、問題解決の過程や結果を振り返って新たな性質を見いだすことが大切である。三角形の合同条件を再確認したり、文章題中にある条件を図形内に書き込んだりする活動を取り入れることが考えられる。
- 数量及び数量の関係を捉え説明する場面では、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明するために、数量やその関係を文字を用いた式で表すことが大事である。方程式を解いたり、二元一次方程式を関数関係を表す式とみて考察する場面では、等式を変形できるように練習したり、友達とその方法について話し合ったりしながら解決していく活動が考えられる。
- 日常生活や社会の事象を考察する場面では、問題解決の方法について数学的に説明できることが大切である。見出す、自分で取り組む場面で、課題を明確にし、解決の方向性を創造していく活動の充実が考えられる。